

児童館 だより

児童館は、児童に健全な遊び場・機会を提供し、子どもが心身ともに豊かな発達ができるように支援するところです。行事の詳しい内容は児童館にお問い合わせください。なお、市ホームページに児童館だよりを掲載しています。



▲市ホームページ児童館だより



※お金やゲームなど貴重品は持ってこないように、また、持たせないようにしてください。

東児童館

☎248-5203

恐竜の生きた時代をのぞいてみよう

- と き** 7月28日(日) 午前10時～正午
- 対象** 市内小・中学生
- 定員** 先着30人程度
- 参加費** 100円
- 内容** 御代町 恐竜博物館出前講座
- 持ってくるもの** 水筒、タオル
- 申込方法** 申し込み受け付け中。児童館窓口または電話でお申し込みください。

クールなアクアドームをつくらう

- と き** 8月10日(出) 午後1時30分～3時
- 対象** 幼児～中学生(幼児は保護者同伴)
- 定員** 先着10人程度
- 内容** きらきらの飾りがユーラユラ、見た目涼しい夏バージョンのアクアドームを作ります。
- 参加費** 100円 (当日集めます)
- 申込開始** 7月27日(出) 午前10時～
- 申込方法** 児童館窓口または電話でお申し込みください。

開館時間/午前8時30分～正午
午後1時～5時
休館日/月曜日、第2日曜日、祝日

泉ヶ丘市民センター 児童館

☎248-3453

夏のお楽しみ企画 大人気 マジック教室

- と き** 8月3日(出) 午前10時～正午
- 対象** 小学生
- 定員** 先着15人
- 参加費** 無料
- 内容** マジックショーのあと、手品の種明かしとコツを教えます。ナルト先生のマジックショーは10時から。どなたでも見に来てください。
※準備のため、当日は10時開館。
- 申込開始** 7月13日(出) 午前10時～
※児童館窓口または電話で、本人か家族の人がお申し込みください。(代理人不可)

夏のお楽しみ企画 あつまれ! 小学生! ~頭とからだをフルかいてん。ゲーム大会~

- と き** 8月22日(木) 午後2時～4時
- 対象** 小学生
- 定員** 先着30人程度
- 参加費** 無料
- 内容** 楽しいレクリエーションゲームが盛りだくさん。ミッションクリアしてお友だちと楽しみましょう。
- 申込開始** 7月13日(出) 午前10時～
※児童館窓口または電話で、本人か家族の人がお申し込みください。(代理人不可)

開館時間/午前8時30分～正午
午後1時～5時
休館日/月曜日、第2日曜日、祝日

西児童館 (ふれあい館内)

☎242-7008

キッズフェス!! ~あ・そ・ぼ~

- と き** 8月24日(出) 午前9時30分～午後2時
- ところ** ふれあい館
- 対象** どなたでも
- 参加費** スノードーム作り 1人100円
食バザー 50円～200円
- 内容** 熊本高専タイケンジャーによる実験ショー、カブトムシとのふれあいコーナー、お店屋さんごっこ、スノードーム作り、アイロンビーズ制作、さかなつり、木のおもちゃ遊びコーナーなど子ども中心のあそび場を設けます。食バザーもあります。

ちょこっとタイム特別企画

- ①らくがき大好き**
と き 7月26日(金) 午前10時30分～午後2時
内容 クレヨンや色鉛筆・スタンプなどを使って自由にお絵かきします。
- ②しゃぼん**
と き 8月6日(火) 午後1時30分～2時30分
内容 しゃぼん玉で遊びます。
- ①②どちらとも** ※申し込み不要。
ところ ふれあい館 **対象** どなたでも
定員 なし **参加費** 無料
持ってくるもの 汚れてもいい服、飲み物

開館時間/ (月～土曜日)午前8時30分～午後5時15分
(日曜日)午前9時～午後5時15分
休館日/ 祝日、第4日曜日

ヴィーブル & コミュニティ情報

申し込み・問い合わせ先 **ヴィーブル** ☎248-5555
トレーニングルームと歴史資料館は点検のため、7月31日(水)が休館日です。

7月の市民講座 防災講座

- 防災のプロから、災害時にとるべき行動や普段の備えなどを学ぶ講座です。
参加費無料・申し込み不要です。みなさんお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。
- と き** 7月31日(水) 午前10時～ (受付 9時30分)
 - ところ** ヴィーブル 文化会館
 - 内容** ・社会を明るくする運動 保護司会合志分会、市更生保護女性会の紹介
・防災講座
- 演題 『プロから学びいざという時の備え～大切な家族と暮らしを守る～』
講師 NPO法人日本防災士会 常任理事 熊本県支部長 宮下 正一さん

子ども歴史・科学体験教室 化石発掘体験と恐竜博物館見学

- 金づちを使って化石の発掘にチャレンジしたあと、大迫力の恐竜の化石を見学します。発掘した化石は持って帰ることができます。
- と き** 8月26日(月) 午前9時～午後3時40分
 - ところ** 化石ひろば 御船町恐竜博物館
 - 集合場所** 8時50分 御代志市民センター 9時 ヴィーブル
 - 対象** 市内小学4～6年生
 - 募集人数** 30人 (応募多数の場合は抽選)
 - 参加費** 400円 (博物館入館料含む)
 - 持ってくるもの** 弁当、帽子、水筒、タオル
 - 申込期限** 7月19日(金) 午後5時



人権よもやま話



人権擁護委員 長尾 隆

高年齢者の人権 高年齢者は社会的弱者なのでしょうか？ 高年齢者の人権問題として、「悪質商法の被害」「働く能力を発揮する機会減少」「社会や家庭からの孤立」などが挙げられて、社会的弱者と定義されることもあります。しかし、国が高齢者に對して実施した調査では、高年齢者弱者ではない姿が見えてきます。

まず、健康面から見ると、平成29年内閣府により実施された高年齢者の健康に関する調査では、「良好」「日常生活では満足」と半数を超える方が回答しています。

体力面では、平成29年スポーツ庁が実施した体力・運動能力調査の結果、高年齢者の体力は全般的に向上しています。女性は10代後半～40代後半、男性は30代後半～40代前半では体力が低下しています。つまり年齢には関係なく、運動・スポーツの習慣を持たなければ低下していくことが分かります。

経済面では、平成30年総務省の家計調査によると、家計が保有する金融資産は、あくまで平均の数値ではありますが、40代に対して60代以上が2倍以上の金融資産を所有しています。労働からの直接収入は減るものの、それまでの資産や年金などで経済的なゆとりが得られている報告があがっています。

能力面では、個人の長年にわたる経験、教育、学習などから獲得していく知能は60歳頃まで上昇し、その後もほとんど低下しないと言われています。新しい環境への適応や情報の獲得・処理・操作をしていく知能は加齢にもなつて低下し、社会的認知の柔軟性は、一般的には高齢になるほど失われて低下していく傾向があります。しかし、個人差もあり年齢による線引きはできないのではないのでしょうか。

以上のように、年を取ること＝社会的弱者という認識は個人差が考慮されておらず、実態にそぐわない部分もあり、誤解が生じていることもあるようです。

人の一生は年齢などで線引きするのではなく、個性を尊重し配慮できる環境の整備などで、高年齢者が活躍できる社会をつくる必要があるのではないかと考えます。

●問い合わせ先 人権啓発教育課 ☎(248)23099